

第22回 教育実践フォーラム 研究発表タイムテーブル

令和3年2月13日（土） オンライン（zoom）開催

*発表者氏名と研究タイトルの色は以下を表しています。

	現職教員大学院生（1年次）
	学部卒大学院生（1年次）
	現職教員大学院生（2年次）
	学部卒大学院生（2年次）

会 場 1

時間	発表者	研究タイトル
9:15-9:45	大久保 潤一	お互いのよさを認め合い、ともに高めあえる学級づくり
9:45-10:15	藤巻 陸	SOS発信によるいじめの未然防止 —信頼感と、被援助志向性の関係—
10:15-10:45	望月 達也	児童が自ら課題を見出し、解決に取り組む学級活動に向けて —振り返り活動に焦点をあてて—
10:45-11:00		休憩
11:00-11:30	森原 将貴	子ども同士の人間関係を育むには —学級通信の実践を通じて—
11:30-12:00	佐野 隆一	中学校における自治的な学級集団の育成 —朝の会・帰りの会を活用したアクティビティを中心的な手立てとして—
12:00-13:15		昼休み
13:15-13:45	秋山 悦子	対話的な学びを通して、友だちとのコミュニケーションを問い直す指導方法とは
13:45-14:15	鈴木 大樹	算数の授業における自己評価が内発的動機付けに及ぼす影響
14:15-14:45	麻生 真緒	学習の困難さに関する家庭の文化的背景という観点からの検討 —中学校数学科の授業における生徒間の関わりに着目して—

会 場 2

時間	発表者	研究タイトル
9:15-9:45	古屋 友己	小学校国語科の物語文教材に用いられる動詞に関する一考察 —教科書教材の分析及び児童の内容把握における実態調査—
9:45-10:15	森田 美結	作品を読むことで考え、つながりを感じることのできる古典教育についての研究
10:15-10:45	跡部 詩織	児童の学びに役立つ「学びの成果物」のあり方 —学んできたことを可視化する重要性—
10:45-11:00		休憩
11:00-11:30	石井 輝彦	読みの視点」の体系化 —「言葉による見方・考え方」を育て、学びを積み上げるために—
11:30-12:00	平林 諒	生徒全員がクラスの一員として学んでいることを実感できる国語科授業のデザイン
12:00-13:15		昼休み
13:15-13:45	坂井 明洋	小学校における児童の表現語彙を増やすための学習指導の研究 —「つたわる言葉で表そう」の実践を通して—
13:45-14:15	島田 絢子	小学校国語科学習におけるリテラチャー・サークルを援用した単元開発 —2年間の実践から有効性を検証する—
14:15-14:45	保坂 由紀子	全ての子どもが自ら言葉を獲得し考えに生かす姿を求めて —言葉のつまずきの集積・分析から手立ての構築—
14:45-15:00		休憩
15:00-15:30	保坂 友理	説明的文章の読解に必要な力に対する一考察 —小学校低学年における係り受け解析の力の変容—
15:30-16:00	猪股 楓	中学校国語科における古典文学の授業研究 —生徒が学びを自分事として捉えられる古典の授業を目指して—

第22回 教育実践フォーラム 研究発表タイムテーブル

令和3年2月13日（土） オンライン（zoom）開催

会 場 3

時間	発表者	研究タイトル
9:15-9:45	梶原 拓也	「社会形成への参画意識を高める社会科授業構想」 —地域素材の教材化を通して—
9:45-10:15	藤森 啓太	批判を位置付けた市民性育成のための授業構想
10:15-10:45	小田切 瑞生	高等学校公民科における市民育成を目指した授業研究 —闘技デモクラシー論を活用した合意吟味学習に注目して—
10:45-11:00	休憩	
11:00-11:30	小山 拓真	主体的な歴史学習に向けた中学校社会科における授業実践 —江戸の「天下泰平の世の中」と現代社会との関連性に着目して—
11:30-12:00	保延 晟一郎	地理的分野におけるユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業実践
12:00-13:15	昼休み	
13:15-13:45	森本 奏也	法的資質を養う授業実践 —因果性と習律からのアプローチ—
13:45-14:15	石川 果歩	中学校社会科歴史的分野における思考力育成を目指した平安時代での実践 —理論と実践の接続を意識した構成を元に—
14:15-14:45	矢野 仁恵	多面的・多角的に考察する力の育成を目指した中学校社会科地理的分野授業の開発と実践 —南アメリカ州の学習において、「今・ここ」の立場を意識させる場面の設定を通じて—
14:45-15:00	休憩	
15:00-15:30	山形 雄大	中学校・社会科における、公民としての資質・能力の育成を目指した授業実践 —深い学びの実現を目指した、地理的分野におけるグループワークを例に—

会 場 4

時間	発表者	研究タイトル
9:15-9:45	雨宮 冬弥	数学的見方・考え方を活用した問題解決型授業とは —方程式分野に焦点を当てて—
9:45-10:15	植原 孝仁	数学教育における根拠を意識させる授業の研究 —深い学びの実現に向けて—
10:15-10:45	樋口 真理子	高校数学における主体的に学習に取り組む態度を評価する方法の開発
10:45-11:00	休憩	
11:00-11:30	古屋 拓海	高等学校数学科における日常事象を用いた数列の実用性に関する教材開発と評価
11:30-12:00	加藤 諒	主体的な学びを促す要因の分析 —中学校数学科の実践を通して—
12:00-13:15	昼休み	
13:15-13:45	青柳 広太郎	数学のよさを感じ得る授業づくり —課題意識を持たせる活動に焦点をあてて—
13:45-14:15	望月 宏紀	高等学校数学科における生徒の対話活動を重視した授業実践とその分析 —数学Ⅲ「微分法の応用」凸性の活用から—
14:15-14:45	佐藤 治彰	考えさせる授業の創造 —生徒にとって身近な課題を用いて—
14:45-15:00	休憩	
15:00-15:30	鈴木 裕大	数学的な考え方を育てる思考プロセスの具体化について —連立方程式の文章題・立式過程の指導を通して—

第22回 教育実践フォーラム 研究発表タイムテーブル

令和3年2月13日（土） オンライン（zoom）開催

会 場 5

時間	発表者	研究タイトル
9:15-9:45	鷹野 公俊	中学校数学における方程式の理解に関する研究 —「移項」の理解の困難性に焦点を当てて—
9:45-10:15	中井 敬吾	中学校数学における「関数の考え」の育成を目指した授業実践 —依存関係に着目して—
10:15-10:45	小松 琢朗	「数学的に説明する」ことができる生徒の育成 —計算過程をふり返り、式をよむ活動に焦点を当てて—
10:45-11:00	休憩	
11:00-11:30	小林 裕直	「数学的な見方・考え方」を重視した算数科の授業づくり
11:30-12:00	阿部 千春	児童が主体的に学ぶための「問い」を工夫した授業実践
12:00-13:15	昼休み	
13:15-13:45	藤本 浩平	自由試行に基づく学習活動と科学概念構築の関係についての研究 —小学校第3学年「物の重さをくらべよう」を対象にして—
13:45-14:15	石川 あさひ	身の回りの情報を活用する能力と科学的な思考・表現に関する能力の育成についての研究
14:15-14:45	武居 菜生	理科での協働的な学習が子どもの概念構築にもたらす効果 —概念構築を促すメタ認知を授業に取り入れた実践—
14:45-15:00	休憩	
15:00-15:30	中西 大生	科学概念の深化を促す考察場面における子どもの比喩的表現の役割
15:30-16:00	西尾 郁哉	粒子概念と物質量の利便性を強調した授業実践による物質質量概念の形成

会 場 6

時間	発表者	研究タイトル
9:15-9:45	筒井 青野	保健体育科における生徒の学習意欲向上に繋がる授業づくり —E球技「ゴール型」オフザボールの使い方を通して—
9:45-10:15	山崎 勝由	高等学校保健体育における生徒主体の授業をデザインするための教師の役割
10:15-10:45	金丸 英太郎	シッティングバレーボールの授業への導入による教育的効果の研究
10:45-11:00	休憩	
11:00-11:30	金丸 未来	中学校体育学習における教師の言葉かけに関する一考察
11:30-12:00	小暮 力也	サッカーにおける主体的・対話的・深い学びの実践
12:00-13:15	昼休み	
13:15-13:45	小林 早希	体育実技におけるICTを活用した問題解決型学習の授業実践に関する研究
13:45-14:15	白須 紗衣	体育理論の授業実践における多様な関わり方「する・みる・支える・知る」の意識付け —実生活での実践に向けて—
14:15-14:45	藤倉 陸	中学校保健体育科の指導における運動有能感を高める授業づくり —バレーボールの授業実践を通して—
14:45-15:00	休憩	
15:00-15:30	望月 啓介	高校体育実技における「体育嫌い」と「天井効果」の改善に向けた指導方法に関する研究 —バレーボールにおける教え合う関係づくりの効果—
15:30-16:00	渡邊 健太	がん教育に関する保健体育の授業内容の構想と実践 —生徒の思考を促す発問の開発とその効果—

第22回 教育実践フォーラム 研究発表タイムテーブル

令和3年2月13日（土） オンライン（zoom）開催

会 場 7

時間	発表者	研究タイトル
9:15-9:45	大久保 樹	中学校保健体育科における生徒が楽しいと感じる授業づくり —長距離走を通して—
9:45-10:15	亀岡 茜	高等学校保健体育科における「体育理論」を運動領域で活用した授業づくり
10:15-10:45	加藤 三紘	「できない」から「できる」となる体育授業指導プログラムの作成
10:45-11:00	休憩	
11:00-11:30	井上 芽衣	「わかる」から「できる」に導く体育科学習 —ICTを活用した走・跳の運動「高跳び」の実践—
11:30-12:00	市川 安紀	図画工作科の学びにおける、子どもたちの思いを膨らませる教師の働きかけ
12:00-13:15	昼休み	
13:15-13:45	武井 恒	特別支援教育に携わる教師の専門性を向上させ、担保するための実践的研究 —特別支援学級教師に焦点を当てた専門性向上パッケージの提案—
13:45-14:15	内川 大輔	知的障害特別支援学校高等部における数学科の授業実践 —文章題を絵に表すことでわかる指導・支援—
14:15-14:45	瀧澤 由枝	知的障害者である生徒のための教科指導と評価の改善に関する研究 —単元計画シート・授業評価シートを活用して—
14:45-15:00	休憩	
15:00-15:30	金丸 由梨	“Small Talk”が児童の外国語活動に対する様々な意欲に及ぼす影響について
15:30-16:00	坂本 優子	高校生を対象とした自由記述式英作文のルーブリックの開発とそのフィードバック効果の検証

会 場 8

時間	発表者	研究タイトル
9:15-9:45	松木 良太	増穂小中連携の可能性と課題 —小中連携をマネジメントする実践から—
9:45-10:15	飯島 輝己	特別支援教育におけるキャリア発達支援 —肢体不自由特別支援学校におけるキャリア・パスポートの活用—
10:15-10:45	久保田 雄太	小学校高学年道徳科における「議論する授業」にするための方策とは —児童の意識調査からその手立てを探る—
10:45-11:00	休憩	
11:00-11:30	廣瀬 尚子	「考え、議論する道徳」の趣旨を生かした効果的な発問とは —多面的・多角的に考えるための指導の工夫—